



旭北地区

6歳未満児の人口が多い町がある地域です。



人口 21,218人



6歳未満児数(率) 1,096人(5.2%)



世帯数 8,245世帯



高齢者数(率) 3,645人(17.2%)



出生数 161人

上白根地域ケアプラザ地域

懇談会開催日

- 第1回目 平成16年 9月25日
- 第2回目 平成16年11月 6日
- 第3回目 平成16年12月25日



支えあい連絡会開催日

- 第1回目 平成17年 4月20日
- 第2回目 平成17年 6月 1日
- 第3回目 平成17年 7月11日
- 第4回目 平成17年 9月12日
- 第5回目 平成17年11月14日
- 第6回目 平成17年11月28日
- 第7回目 平成17年12月12日

地域の主な福祉保健活動

- ◆ 子育て支援ネットワーク(A2ライン)
- ◆ 高齢者対策安心カード
- ◆ ふる里まつり



様々な取り組みや活動の中から、子育て支援、高齢者・障害者支援、世代間交流の3つの視点で主な活動を掲載しています。

当面取り組む地域の課題

●福祉保健活動に関わる 人材育成と世代間交流

地域懇談会で、これらの課題から取り組むことが話し合われました。

地域での具体的な取り組み

取り組みの目標・テーマ

顔の見える関係で課題解決するまち

取り組みを進めるにあたっての大切にしたい点

旭北地区は地域のコミュニケーションがより必要とされる地域です。要支援者に対する防犯・防災の問題、子育て支援に関わる世代間の交流が課題となっています。解決に向けて、まずお互いの顔の見える関係をつくり、そこから新たな関係をつくり出していくことが求められています。

具体的な取り組み

連合町内会等約380名の諸団体委員を積極的に活用する。健康な高齢者、定年後の男性、中学生、小学校高学年が地域での災害弱者に対して防犯・防災活動はじめ地域での活動ができるよう人材育成を行う。



懇談会参加者

一般区民	民生委員・児童委員
保健活動推進員	子育てグループ関係者
保育園保護者	障害者
障害者の保護者	地元病院ケースワーカー
地元郵便局長	地元企業関係者
地元スーパー店主	中学生
中学校教員	

目標 テーマ

顔の見える関係で課題解決するまち

大切にしたい点

情報が確実に伝えられる顔の見える関係づくりによって防犯・防災・子育てに取り組む
旭北地区は地域のコミュニケーションがより必要とされる地域です。要支援者に対する防犯・防災の問題、子育て支援に関わる世代間の交流が課題となっています。解決に向けて、まずお互いの顔の見える関係をつくり、そこから新たな関係をつくり出していくことが求められています。

課題

顔の見える関係づくり

地域の防犯体制づくり

情報の確実な伝達

地域の防災体制づくり

- ◇ひとり暮らしの男性は閉じこもりがち
- ◇高齢者の中には防災マップをあまり見ない人もいる
- ◇避難方法を知らない人もいる
- ◇要支援者への防犯・防災支援が必要
- ◇地域の一人ひとりの自覚が必要

地域の課題

(防犯・防災)



課題、目標テーマ

福祉保健活動に関わる人材育成と世代間交流

課題

違う年代のつながりを作る

ふれあいの場・機会をつくる

大人から働きかける

- ◇親の生活中心の子育て
- ◇子育て支援、親支援が必要になっている人がいる
- ◇隣近所の付き合いが必要
- ◇中学生との関わりやふれあいの場を持つことが必要
- ◇町内の祭や大会に参加する若い世代が少ない
- ◇父親同士のつながりも必要

地域の課題

(子育て支援)

